古河機械金属グループ

報道関係各位

2025 年 7 月 31 日
古河機械金属株式会社

# 「第 7 回 国際 建設・測量展(CSPI-EXPO2025)」に出展

## ～ロックドリル・ユニック・産業機械製品を展示し、おおよそ 3,400 人が来場～

**当社（社長：中戸川 稔）グループの中核事業会社で、ロックドリル部門を担う古河ロックドリル株式会社（東京都千代田区、社長：山口 正己）、ユニック部門を担う古河ユニック株式会社（東京都千代田区、社長：菅野 悌二）、産業機械部門を担う古河産機システムズ株式会社（東京都千代田区、社長：岩間 和義）は、このたび、千葉県の幕張メッセにて開催された建設・測量業界国内最大級の専門展示会の「第 7 回 国際 建設・測量展(CSPI-EXPO2025)」に出展しました。期間中のブース来場者数の合計は、おおよそ 3,400 人となりました。ご来場いただいた皆様に、厚く御礼申し上げます。**

ブース全景

## ロックドリル製品ブース

超大型超低騒音油圧ブレーカ『Fxj1070α』

小割圧砕機『Vs22-V』

ドリルシミュレータ及び稼働サポートシステムのパネル等

解体・リサイクル業者への PR を目的として、主力製品である超大型超低騒音油圧ブレーカ『Fxj1070α』、小割圧砕機『Vs22-V』（Φ600 ㎜強化型アクティブマグネット仕様及びΦ600 ㎜標準型フレームマグネット仕様）を実機展示しました。『Fxj1070α』は、強大な打撃力と低騒音構造を持ち合わせており、硬い岩石や基礎コンクリートを破砕する作業環境に配慮した油圧ブレーカです。『Vs22-V』は、強力な破砕力、軽量な機体、そして強力なマグネットを備えた「軽い・速い・強い」３拍子揃った使いやすい小割圧砕機です。

また、F-MICAS※1 および新商品 GEOLAS※2 のパネル展示と動画紹介や、全自動ドリルジャンボのドリルシミュレーションを実演しました。

さらに、国産初の量産型さく岩機として、大正時代に製造された足尾式小型さく岩機『ASD11』や、『Fxj1070α』と対照的なサイズの小型油圧ブレーカ『Fx15α』（解体ブラケット仕様）も展示し、さく岩機メーカーとしての歴史と製品ラインアップの幅広さをアピールしました。

〈問い合わせ先〉 ・ニュースリリースに関して 古河機械金属株式会社 経営企画部広報・IR 課 TEL：03-6636-9501
・展示会に関して 古河ロックドリル株式会社 営業企画部 TEL：03-6636-9522
古河ユニック株式会社 国内営業部営業推進課 TEL：03-6636-9524
古河産機システムズ株式会社 事業企画部 TEL：03-6636-9512

古河機械金属グループ

展示会期間中には、油圧ブレーカおよび小割圧砕機の複数台の受注に加えて、多数の引き合いもあり、製品への関心の高さを実感しました。

※1：F-MICAS とは FRD Machine Information Control & Analysis System の略称で、ブラストホールドリルおよび油圧ブレーカの稼働サポートシステムです。土木施工現場における省力化・効率化の実現性が評価され、国土交通省の NETIS（新技術情報提供システム）に登録されています。
https://www.furukawarockdrill.co.jp/support
※2：GEOLAS とは Geological Analysis System の略称で、岩質判定システムです。1 孔あたりに約 10 ㎝間隔で軟岩、中硬岩、硬岩など岩質を判定します。

## ユニック製品ブース

充電式リチウムイオンバッテリー搭載モデル
『UM445C』(海外仕様)

交換式バッテリー搭載プロトタイプモデル
『URU054C』(試作品)

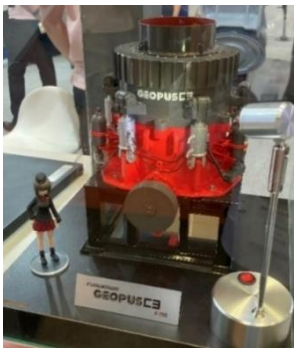
VR クレーンシミュレータ

欧州で販売している海外仕様の充電式リチウムイオンバッテリー搭載モデル『UM445C』と交換式バッテリー搭載プロトタイプモデル『URU054C』を展示しました。『UM445C』は、4t 吊りのミニ・クローラクレーンで、環境負荷低減のニーズに応えたモデル、『URU054C』は、本田技研工業株式会社が提供する持ち運び可能な交換式バッテリー「Honda Mobile Power Pack e:」で駆動する試作品モデルです。これらの異なる 2 機種のバッテリー式モデルの展示を通して、製品への期待度などの声を多く得ることができました。

また、トラック搭載型クレーンの操作を古河ユニック製「液晶ラジコン JOY」の実機を使って VR（仮想現実）上で疑似体験する VR クレーンシミュレータを展示しました。実際にクレーン操作しているようなリアルな操作を体験することで、「液晶ラジコン JOY」の操作体験や、効率的な習熟訓練に加え、「クレーン事故ゼロ」に向けた安全意識向上の機会にもなりました。

## 産業機械製品ブース

『SICON®』のサンプル




『GEOPUS C3』の模型

〈問い合わせ先〉 ・ニュースリリースに関して
古河機械金属株式会社 経営企画部広報･IR 課 TEL：03-6636-9501
・展示会に関して
古河ロックドリル株式会社 営業企画部 TEL：03-6636-9522
古河ユニック株式会社 国内営業部営業推進課 TEL：03-6636-9524
古河産機システムズ株式会社 事業企画部 TEL：03-6636-9512

古河機械金属グループ

密閉式吊下げ型コンベヤ『SICON®』のサンプルとコーンクラッシャ『GEOPUS C3』の模型を展示しました。
『SICON®』は、通常の平ベルトコンベヤと異なり、土砂などの搬送物をコンベヤベルトで袋状に包み込み、モノレールのように吊り下げて搬送するため、荷こぼれや粉じん、騒音などを抑制し、搬送物を落とさず静かに運ぶことができます。展示を通じて、建設業界の多くの方に新たな土砂搬送方法としての『SICON®』活用を周知することができました。
また、マテリアル機械の主力製品である GEOPUS シリーズの中核をなすコーンクラッシャ『GEOPUS C3』の精巧な模型を展示し、実機の構造や機能を紹介しました。採掘現場（上流）向けのロックドリル製品と、プラント（下流）向けのマテリアル機械製品を組み合わせた、砕石現場における上流から下流までの一貫したソリューションをアピールしました。

## 第 7 回 国際 建設･測量展(CSPI-EXPO2025)

･開催日：2025 年 6 月 18 日～21 日
･会場　：幕張メッセ（千葉県）
･概要　：国際 建設･測量展とは、建設機械･重機、小型建機、測量機器、ICT 建設技術、ドローン、3D 計測機器、建設資材など、建設･測量分野の最新技術や製品、サービスが一堂に集結する展示会です。近年は 1 年に一度、千葉県で開催されています。主催社の発表によると、今年は 5 万人以上が来場されました。

【補足資料】
■会社概要
【古河機械金属株式会社】（東京証券取引所プライム市場 証券コード 5715）
本社所在地：東京都千代田区大手町二丁目 6 番 4 号（常盤橋タワー）
代表取締役社長：中戸川 稔
事 業 内 容：鉱山開発で培った技術を受け継ぎ、現在では機械事業 3 部門（産業機械部門、ロックドリル部門、ユニック部門）と素材事業 3 部門（金属部門、電子部門、化成品部門）を展開しています。
創　　業：1875（明治 8）年 8 月
設　　立：1918（大正 7）年 4 月
資 本 金：282 億 818 万円
従 業 員 数：従業員数：〈連結〉2,908 人〈単独〉205 人 [2025 年 3 月 31 日現在]
WEB サイト：https://www.furukawakk.co.jp/

【古河ロックドリル株式会社】（古河機械金属株式会社 100%子会社）
本社所在地：東京都千代田区大手町二丁目 6 番 4 号（常盤橋タワー）
代表取締役社長：山口 正己
事 業 内 容：1914 年、国産初の手持ち式さく岩機の開発が始まりで、現在はさく岩機のトップメーカーとして、油圧ブレーカ、油圧クローラドリル、トンネルドリルジャンボなど、インフラ整備、鉱山開発に不可欠なさく岩機の製造･販売を行っています。
設　　立：1961（昭和 36）年 6 月
資 本 金：4 億円
従 業 員 数：524 人 [2025 年 3 月 31 日現在]
WEB サイト：http://www.furukawarockdrill.co.jp/

強みの「ドリフタ」をコアコンピタンスとして共通の旗印に掲げ、キャッチコピー「KEEP THE BEAT!!!」を設定し、強靭な組織を目指しています。

【古河ユニック株式会社】（古河機械金属株式会社 100%子会社）
本社所在地：東京都千代田区大手町二丁目 6 番 4 号（常盤橋タワー）
代表取締役社長：菅野 悌二
事 業 内 容：1961 年に国産初の車両搭載型クレーン「ユニッククレーン」を開発。ユニッククレーンは、トラックに搭載することで「吊る･積む･運ぶ･作業する」の一連の作業を効率化した荷役機械です。現在ではユニッククレーン、ミニ･クローラクレーンなどの製造･販売を行っています。
設　　立：1946（昭和 21）年 4 月
資 本 金：2 億円
従 業 員 数：480 人 [2025 年 3 月 31 日現在]
WEB サイト：https://www.furukawaunic.co.jp/

〈問い合わせ先〉　･ニュースリリースに関して　古河機械金属株式会社　経営企画部広報･IR 課　TEL：03-6636-9501
･展示会に関して　古河ロックドリル株式会社　営業企画部　TEL：03-6636-9522
古河ユニック株式会社　国内営業部営業推進課　TEL：03-6636-9524
古河産機システムズ株式会社　事業企画部　TEL：03-6636-9512

古河機械金属グループ

【古河産機システムズ株式会社】（古河機械金属株式会社 100%子会社）
本社所在地：東京都千代田区大手町二丁目 6 番 4 号（常盤橋タワー）
代表取締役社長：岩間 和義
事 業 内 容：足尾銅山の鉱山機械修理技術をルーツに、現在はスラリーポンプ、汚泥ポンプ、破砕機、スクリーンのほか、鋼橋梁やベルトコンベヤ等の設計・製造・据付工事・運転管理を行っています。
設　　立：2004（平成 16）年 5 月
資 本 金：3 億円
従 業 員 数：448 名[2025 年 3 月 31 日現在]
WEB サイト：https://www.furukawa-sanki.co.jp/

〈問い合わせ先〉
・ニュースリリースに関して　古河機械金属株式会社　経営企画部広報･IR 課　TEL：03-6636-9501
・展示会に関して　古河ロックドリル株式会社　営業企画部　TEL：03-6636-9522
古河ユニック株式会社　国内営業部営業推進課　TEL：03-6636-9524
古河産機システムズ株式会社　事業企画部　TEL：03-6636-9512